プログラム

講　堂　－7階－

9:50～　開会式　　**9:30～16:00　企業展示**

10:10～10:35　口演発表　第１群＜救急・急性期看護＞　２題

座長　泊瀬川　紀子（学校法人日本医科大学 日本医科大学武蔵小杉病院）

研究　1　A 病院救急外来における滞在時間の実態調査
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院　竹原 陽平

研究　2　緊急入院となった患児の家族の思い
～アンケート結果から小児看護の課題を考える～
学校法人帝京大学 帝京大学医学部附属溝口病院　月村 未来

11:00～12:00　トークライブ

テーマ「自分らしく働き続ける未来へ
ー寄木型業務が拓く KANAGAWA 看護の新モデルー」
進　行：本舘 教子 氏
（神奈川看護学会 学会長／公益社団法人神奈川県看護協会 会長）
登壇者：内田 敏江 氏
（特定医療法人社団若林会 湘南中央病院 看護部長）
：田口 祐子 氏
（医療法人社団増田厚生会 清川遠寿病院 看護部長）

13:35～14:20　口演発表　第２群＜業務改善＞　４題

座長　阿比留 美幸（社会福祉法人聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院）

実践　3　外来化学療法室におけるリクライニングチェア使用標準化による転倒予防
学校法人北里研究所 北里大学病院　市川 直枝

実践　4　外来看護師のモバイル端末を用いた初診問診入力を試みて
～直接ケア時間確保にむけて～
社会医療法人財団 石心会 第二川崎幸クリニック　及川 薫

実践　5　看護師が実施している血液培養採取手技の実態調査
～看護部業務マニュアル改定前後における採取手技実施状況の比較～
社会医療法人三栄会 中央林間病院　平野 和美

研究　6　A 病院看護師のストーマケア能力の分析とマニュアル作成による
ケア標準化を図る取り組み
～アンケート調査に基づいたマニュアル作成とストーマ装具選定の可視化～
社会医療法人三栄会 中央林間病院　村上 菜々子

14:30～15:50　講演会
テーマ　働きがいがウェルビーイングを創る
― 神奈川から始める看護現場の小さな実践と組織の力
講　師：松下博宣　氏
（文京学院大学大学院福祉医療マネジメント研究科 特任教授）

15:55～　閉会式・学会ＭＶＰ発表

プログラム

第１研修室 －６階－

10:10～10:55　示説発表　第９群＜看護管理＞　４題

研究　33　日勤リーダー業務開始に対する不安の実態
社会医療法人三栄会 中央林間病院　三浦 絢子

研究　34　成人領域から小児専門病院に移った既卒看護師の語りから
～支援体制の一考察～
地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター
黒島 思央利

実践　35　A 病院の入職者の職場定着を促進する対策の検討
～キャリアコンサルタントによる面談での取り組みから考える～
医療法人社団恵生会 上白根病院　八ッ橋 のぞみ

実践　36　看護の視点から予防医療に繋げるためにできること
～医療従事者の実態調査から見えた要因～
三浦市立病院　山崎 渚

11:05～12:00　示説発表　第 10 群＜看護実践③＞　５題

実践　37　寂しさを背景に身体症状を呈した造血幹細胞移植患児への情緒的支援
～発達段階に応じた関わりを通して～
学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院　安達 乙葉

研究　38　尿道留置カテーテルを留置したまま退院する患者に対しての退院指導の実態調査
～看護師アンケート結果からみえた課題～
JA 神奈川県厚生連 相模原協同病院　吉田 真貴

研究　39　器質性精神障害患者の自殺再企図防止に向けたセルフケアプログラム実践
―心理的安全性を基盤とした CNS 介入の一事例―
平塚市民病院　渡邊 奈央

研究　40　大腸内視鏡検査説明時間短縮に向けた取り組みとその結果
社会医療法人三栄会 中央林間病院　遠藤 忍

研究　41　緩和ケア病棟看護師の口腔ケアに関連した早期アセスメントツール活用による
業務改善について～看護計画・実施項目立案率上昇を目指して～
社会医療法人社団三思会 東名厚木病院　小西 栞奈

13:35～14:20　示説発表　第 11 群＜看護師の継続教育＞　４題

研究　42　模擬事例を用いた熟練看護師の臨床判断における思考過程の探索
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院　松本 ののか

実践　43　産科混合病棟における防災訓練実施後の災害時への意識変化について
学校法人帝京大学 帝京大学医学部附属溝口病院　千葉 愛恵

実践　44　婦人科病棟のがんサロン運営を OJT として活用した取り組み
～看護師の気づきと学びに焦点を当てて～
学校法人北里研究所 北里大学病院　岩崎明日香

実践　45　皮膚・排泄ケア認定看護師主催ストーマ研修修了者の病棟における実践状況
～アンケート調査からの一考察～
大和市立病院　木寺 邦子

プログラム

第１研修室 －６階－

13:35～14:20　示説発表　第 12 群＜看護基礎教育＞　４題

実践 46　対象者の語りから紡ぐ、その人らしさを支える療養環境
～対象者に寄り添い、その人らしさを支える看護を考える～
学校法人聖マリアンナ医科大学 聖マリアンナ医科大学看護専門学校
早川 玲子

実践 47　看護実習受け入れから 2 年間の実習支援体制の評価
～実習アンケート自由記載の質的分析～
医療法人社団医誠会 湘陽かしわ台病院　高木 はるか

研究 48　看護学生実習受け入れに関する病棟看護職の意識調査
～地域包括ケア病棟における質問紙調査～
医療法人社団藤和会 厚木佐藤病院　小林 佐和子

実践 49　看護学校における DX 化に向けての取り組みと一考察
～成績管理システム導入に伴う教員業務効率化に向けた取り組み～
公益社団法人横浜市病院協会 横浜市病院協会看護専門学校
山口 義美

看護研究支援コーナー －６階－

10:15～15:30　看護研究なんでも相談コーナー

講師　下村 晃子　（学校法人松蔭学園 松蔭大学 看護学部 教授
/ 慢性疾患看護専門看護師）

学会参加者を対象に、看護研究に関する相談や質問に講師がお答えします。

＜利用について＞

・事前申込：専用グーグルフォームにて申込み（11 月 20 日まで）※詳細はホームページ参照

・当日申込：6 階看護研究支援コーナー　受付（当日 9:30～14:30　事前申込を優先、先着順）

＜相談時間枠＞　上限 25 分

【A】10:10～、【B】10:40～、【C】13:30～、【D】14:00～、【E】14:30～、【F】15:00～

プログラム

ナースセンター研修室 －５階－

10:10～10:55　口演発表　第３群＜老年看護・地域包括ケア＞　４題

座長　高橋 久美（医療法人社団山本記念会 山本記念病院）

研究　7　急性期整形外科 A 病棟におけるユマニチュードを実践した看護師の感情の変化
社会医療法人財団互恵会 大船中央病院　加藤 由夏

研究　8　外来看護師による在宅療養支援の実践内容
～生活課題の把握と地域・多職種連携に着目した文献検討～
坂口 久美子

実践　9　認知症高齢者を対象とした院内デイサービスの取り組み
～「その人らしさ」を引き出すサービス提供の効果～
医療法人社団協友会 金沢文庫病院　倉本 君栄

実践　10　認知症のある患者の身体拘束解除と生活リズムの改善に向けた
院内デイサービスの効果
社会医療法人社団三思会 東名厚木病院　張 偉

11:05～12:00　口演発表　第４群＜看護実践①＞　５題

座長　西﨑 恵利子（社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院衣笠病院）

研究　11　心不全患者の再入院を減少させるための心不全手帳を活用した療養指導の評価
横浜市立市民病院　西山 良子

研究　12　整形外科術後患者の排泄支援における看護師の臨床判断
～尿道カテーテル抜去後の観察視点の分析～
一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院　矢後 風歌

研究　13　上部消化管内視鏡における効果的なタッチング
～安心・安楽な検査介助を目指して～
医療法人社団明芳会 江田記念病院　津田 優子

研究　14　改訂版離床プロトコール導入が看護師の早期離床に対する意識・行動に与える影響
～脳出血患者を対象とした前後比較研究～
社会医療法人財団石心会 川崎幸病院　小坂 早紀

実践　15　TAFRO 症候群患者に対する手部タクティールケアの実践
～苦痛緩和と自主性回復に着目して～
学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院　中野 成珠

プログラム

ナースセンター研修室 －５階－

12:30～13:20　ランチョンセミナー

テ ー マ　「女性のライフステージから考える運動とエクオール
―心血管疾患リスクを軽減する新たなアプローチ ―」

講　　師：林 貢一郎　氏

（國學院大學 人間開発学部 健康体育学科 教授）

協賛企業：大塚製薬株式会社　ニュートラシューティカルズ事業グループ

13:35～14:20　口演発表　第５群＜人材育成と活用＞　４題

座長　松山 一樹（医療法人社団 早雲会 相模湖病院）

研究　16　認定看護師の組織的活用の成功要素に関する文献検討
大和市立病院　佐々木 勝弘

実践　17　兼任感染管理認定看護師の活動実践の報告
～陰部清潔手順標準化への取り組み～
大和市立病院　原 亜由美

実践　18　A 病院における看護師特定行為の安全な実践を支える組織的運用体制構築の取り組み
医療法人社団康心会 湘南東部総合病院　宍戸 唯

実践　19　看護補助者リーダー育成に向けた取り組み
～支援的関わりを通した主体性の向上～
社会福祉法人日本医療伝道会 総合病院衣笠病院　小菅 理恵

プログラム

会議室１　－５階－

10:00～11:00　交流会①

特定行為研修修了者の人財活用（活動）への取り組み
特定行為研修 教育から実践へ～地域・在宅、急性期における修了者の役割と実践体制の構築～

ワーキングメンバー

與良 登美代（社会医療法人社団三思会看護職キャリア支援センター）

下島 三千代（社会医療法人社団三思会看護職キャリア支援センター）

今堀 亜紀（社会医療法人社団三思会訪問看護ステーションもみじ）

森安 恵実（学校法人北里研究所 北里大学病院 救命センター）

❖定　　員：座席 30 名程度/立見 5～10 名程度（事前申込を含む先着順）

11:30～12:30　**看護研究ミニ支援講座**

講師　下村 晃子（学校法人松蔭学園 松蔭大学 看護学部 教授

/ 慢性疾患看護専門看護師）

「看護実践を『実践報告』としてまとめてみよう」
～課題発見から報告作成までのプロセスを学ぶ～

「日々の実践の中で感じる課題を、どのように実践報告へ発展させればよいのだろう？」そんな疑問をお持ちの方を対象に、現場での課題や困りごとの収集から、関係者の巻き込み・合意形成、交渉の進め方、そして実践を経て報告にまとめるまでの一連のプロセスについて、わかりやすく解説します。

また、実践報告を単なる体験報告ではなく、根拠に基づいた報告を作成するためのポイントを学びます。文献の活用方法や客観的データの収集・分析、第三者からの評価や意見の取り入れ方など、実践報告の質を高める重要な視点についてもお伝えします。

現場での取り組みを形にしたい方、実践報告のまとめ方を学びたい方は、ぜひご参加ください。

❖定　　員：座席 20 名程度/立見 5～10 名程度（事前申込を含む先着順）

13:30～14:30　交流会②

どう変わる、看護の未来？この先のキャリアをどう描くか
―「専門＋α」で広がるあなたの選択肢：スキルアップ×リスキリング

ワーキングメンバー

野村　美香（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

茂木　光代（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

島田　真由美（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

松永　早苗（神奈川県立保健福祉大学実践教育センター）

❖定　　員：座席 30 名程度/立見 5～10 名程度（事前申込を含む先着順）

プログラム

２階会議室 A　－２階－

10:10～10:55　口演発表　第６群＜意思決定・緩和ケア＞　４題

座長　髙橋 八重子（独立行政法人国立病院機構 神奈川病院）

実践　20　終末期患者への ACP 支援
～対話を通して価値観を引き出した関わりを振り返って～
学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院　森下 響

実践　21　整形外科病棟における緩和ケア苦痛スクリーニング導入の成果と課題
～スクリーニング導入から定着までのプロセスの振り返り～
学校法人北里研究所 北里大学病院　亀岡 穂

実践　22　婦人科病棟におけるがんサロンの実践
～患者同士のつながりがもたらすエンパワーメント～
学校法人北里研究所 北里大学病院　布施 安祐香

実践　23　思春期悪性神経膠腫患者における嘔気・不眠への介入と身体拘束解除の一事例
～症状緩和と心理的支援の包括的アプローチ～
学校法人東海大学 東海大学医学部付属病院　竹本 結衣乃

11:05～12:00　口演発表　第７群＜看護教育＞　５題

座長　古川 幸代（医療法人篠原湘南クリニック クローバーホスピタル）

実践　24　ARCS モデルを活用した急性期の臨床現場における教育 DX の取り組み
～AI や Google Workspace®を活用した学びやすい学習環境～
社会医療法人社団三思会 東名厚木病院　鈴木 健斗

研究　25　新人看護師の職場適応のための精神的な支援としての「同期会」の有効性
川崎市立川崎病院　冨林 訓之

実践　26　看護師の定着支援に向けた組織的取り組みの成果と課題
～A 病棟における新人看護師支援の充実とリーダー看護師への負担に着目して～
公立大学法人横浜市立大学 横浜市立大学附属病院　椎名 友恵

研究　27　新人看護職員の教育プログラムの導入により得られた成果
～スーパーローテート OJT 研修を取り入れて～
医療法人ユーカリ さがみ林間病院　小出 恵加

実践　28　訪問看護師のニーズに沿ったマイクロラーニングの取り組み
株式会社楓の風 在宅療養支援ステーション楓の風 戸塚　前川 直子

プログラム

２階会議室 A　－２階－

13:35～14:20　口演発表　第８群＜看護実践②＞　４題

座長　廣島 のぶ子（医療法人社団 さがみ野中央病院）

実践　29　延髄外側梗塞患者の障害受容に向けた看護支援
横浜市立脳卒中・神経脊椎センター　中野 愛美

実践　30　認知機能が低下した高齢者への食事の自己摂取を目指した関わりと支援
～食事摂取や日常生活自立度の向上に繋げた一例～
医療法人社団守成会 広瀬病院　藪下 桃子

実践　31　ICU における早期回復に向けた療養環境の構築
～療養環境に対する意識改革と看護実践～
茅ヶ崎市立病院　峰尾 里菜

実践　32　訪問看護師がグループホームの介護職と協働して看取りにおける
チームケアを実感した一事例
株式会社 NURSE DEPT 訪問看護 れんげ草　吉田 恵子

その他

神奈川県看護協会から発信！

神奈川県看護協会の主な事業や取り組みについてポスター掲示を通して紹介するコーナーです。協会のことをもっと知っていただき、もっと参加していただきたい！ぜひ、気軽に立ち寄って、私たちの活動に触れてみてください。

ポスター掲示

✤公益社団法人神奈川県看護協会 川崎支部
「つながろう川崎、広げよう看護のちから―地域とともに創る未来の看護－」

✤神奈川県ナースセンター
「つづける　みつける　つながる」
－ナースセンター　看護職と職場をつなぐ場所がここにある－

✤公益社団法人神奈川県看護協会 訪問看護・危機管理課
「もっともっと新しい仲間が必要です！地域で生きる人を一緒に支える仲間！」

✤公益社団法人神奈川県看護協会 総務企画課 企画運営班
「あなたと看護協会をつなぐ～看護協会って、何やってるの？～」

✤公益社団法人神奈川県看護協会 研修課 認定教育班
「学びが、あなたの看護管理をアップデート！
～地域の医療を支える看護管理者の育成をめざします～」